

びふか

# 議会 です、こんにちは。

2010 / 2 第72号

FOOD831番による新年餅つき  
《びふか温泉》

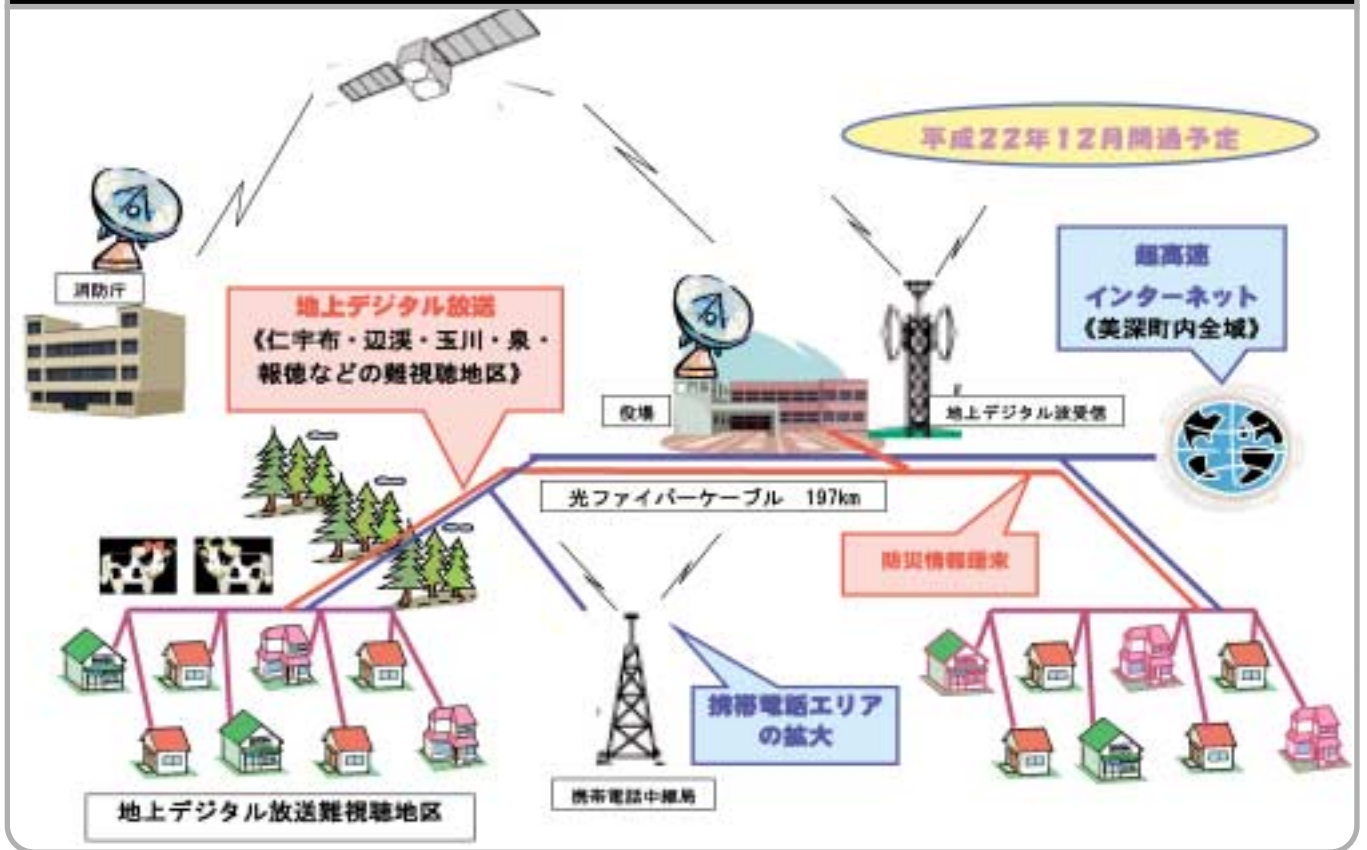


全町に光ファイバー通信網を整備  
町長の考えを問う 一般質問7議員登壇  
議会活性化のために 議会改革特別委員会  
議会の動き

この議会広報誌は再生紙を使用しています

▶発行/美深町議会 ▶編集/議会広報編集調査特別委員会 ▶098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651 ▶印刷/尚美深印刷

# 全町に光ファイバー通信網を整備



## 行政報告

平成21年第4回定例会は12月14日から17日の日程で開かれ、財産取得など議決案4件、補正予算案4件、人事同意案2件、意見書案2件、平成20年度一般会計ほか7会計の決算認定8件について審議した。

一般質問は、7議員が登壇し、町政について町長・教育長の考えをただした。

① 冷湿害等による農業被害状況

6月から8月にかけて長雨、低温、日照不足などの天候不順により生育不良など農作物被害が広く発生した。

さらに、長雨や11月初めの降雪によって収穫作業が遅れ、7年ぶりの援農作業が行われ、農業者にとっては大変厳しい年となった。

本町の被害状況はJ A北はるかかの調査によると、水稲、そば、南瓜、馬鈴薯など被害総額は1億3600万円にのぼると報告されている。

この対策として国・

道では農業共済金の早期支払い、災害資金等の融通による金融対策、緊急雇用創出事業臨時交付金事業などを実施して農業経営の維持・安定を図ることとしている。

町においても、J A北はるかかが融資する「農業経営緊急支援資金」に対し、利子補給補助を講じ、末端金利をゼロ%とするほか緊

急雇用創出推進事業を活用し、被災農家の収入獲得機会を確保したい。



7年ぶりの援農

② 美深町地域公共交通活性化協議会の設立

町民や議員から公共交通機関の確保と現状のバス路線のあり方について、意見をいただいたが、12月1日に関係機関や団体と町民を交えた美深町地域公共交通活性化協議会を設立した。

国の補助による公共交通総合連携計画を本年度中に策定し、これに基づく実証等を行いながら、今後の本町の公共交通のあり方を検討したい。

交通弱者の利便性を向上させることは、住民福祉に直結するものだが、一方では経費の負担も予想される。

利用者だけでなく、町民全体で町内の公共交通を維持していく方法や啓発も同時に行う必要があると考えている。



## 財産取得

### 1 取得財産

ごみ収集業務塵芥処理車（4t車プレス積込、ハイブリット仕様）

### 2 取得金額

12,490,384円

### 3 取得先

札幌市  
北富士産業機械㈱

## 過疎地域自立 促進計画の変更

●地域情報通信基盤整備事業を追加

- ① 光ファイバー網通信基盤整備
- ② 地上デジタル放送共聴施設
- ③ 行政情報告知システム

## 補正予算

問 光ファイバー整備についてだが、維持管理費も含めて将来、住民負担について心配している人もいるが。

町長 住民負担はなるべくかけないよう、地デジ難聴対策・防災対



**美深町監査委員の選任同意**  
任期満了に伴う監査委員に岡崎三郎さんの再任に同意した。



**美深町教育委員会委員の任命同意**  
任期満了に伴う教育委員に清水満寿美さんの任命に同意した。

策、さらにはインターネット・電話と最高の通信網を整備したい。

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	50億2,980万円	15億547万円	65億3,528万円
(主な補正内容)			
地域情報通信基盤整備事業工事請負費(光ファイバー)		14億4,900万円	
雇用機会創出事業委託料		2,615万円	
畜産担い手育成総合整備事業負担金		2,295万円	
稲作振興事業補助金		485万円	
道路パトロール車購入費		340万円	
介護保険特別会計	4億3,738万円	△210万円	4億3,528万円
簡易水道事業会計	5,243万円	△119万円	5,124万円
水道事業会計	3,805万円	△231万円	3,574万円

## 第3回臨時会

第3回臨時会は平成21年11月30日開催され、人事院勧告に準じて一般職・特別職の給与に関する条例の一部改正など条例2件、承認1件、補正予算6件について審議可決した。

質問 当町の場合、財政面から人事院勧告に反しても町経済に貢献すべきでは。 願いたい。

副町長 1000万円の減額になっているが、交付税等、国からの支援が引き下げられると全町民に与える影響も考慮し、現行の給与制度が一番望ましい。

質問 新型インフルエンザ予防接種補助金は町内・町外受診は同じ扱いか。

住民生活課長 町内は委託料、町外は補助金で同額支出。

質問 外国産ワクチンの安全性に対する認識は。

住民生活課長 厚生労働省も調査団を派遣し臨床試験を見ながら、万全を期したいという事ではあるが、基礎疾患等がある場合は接種

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	50億3,541万円	△561万円	50億2,980万円
(主な補正内容)			
予防接種業務委託料		273万円	
新型インフルエンザ予防接種補助金		181万円	
一般職給料		△502万円	
職員共済組合負担金		350万円	

# 一般質問席

## 7人の議員が施策を問う

諸岡 勇  
中野 勇治  
林 寿一  
小口 英治  
今泉 常夫  
倉兼 政彦  
南 和博

### 意見書を提出しました

電源立地地域対策交付金制度の交付期間の延長等を求める意見書

#### 【主旨】

水力発電施設周辺地域交付金は、地域住民の福祉の向上等に資することを目的に創設されたものであり、住民生活の利便性向上に充当されている。

過去30年間にわたり交付されたが、平成22年度末で交付期限を迎えることから平成23年度以降は、恒久的な制度とすることを要望する。

#### (提出先)

経済産業大臣・財務大臣・総務大臣



サンルダム本体工事凍結解除を求める意見書

#### 【主旨】

天塩川流域における住民の生活安全と農業など経済活動の安定を期するためにもサンルダムは極めて重要な多目的ダムと位置付けられており、流域や地域の住民にとって安心・安全な日々の生活、安定した利水の拡大による生活向上に大きな期待を寄せているところである。

すでに、道道下川雄武線の付け替え工事などに多額の事業費が執行されている。

昭和63年の実施計画調査以来、21年の歳月が経過しているいま、多面的機能を有する本体工事の完成を関係自治体の総意をもって、お願いするものである。是非、流域に住む者の心情をご理解いただき、本体工事凍結を解除いただきたく、強く要望する。

#### (提出先)

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣副総理大臣・国家戦略大臣・総務大臣・財務大臣・国土交通大臣



諸岡 勇 議員

- 1 有機農業の取り組み状況と今後の振興策について
- 2 第5次総合計画の策定について



契約圃場（富岡）

### 問 有機農業の取り組みは

#### 答 エコファーマー認定を受けて

質問 平成18年国会で有機農法の推進法が制定され、5年間をめどに平成21年から減農薬有機農業への転換を着実に進め、安心安全環境負荷に配慮した農業へと進めるもの。

北海道は法律を受け平成20年3月に北海道有機農業推進計画を策定した。町はこれを受けて平成21年の取り組み実績と新年度の取り組み考えを伺う。

また、本町の有機農業に取り組み農業者と法人があるのか、21年度当初予算で有機農業の取り組み支援とされた状況と実績評価を伺う。

町長 有機農業の定義は、化学肥料・農薬を使用しない事並びに遺伝子組み換え技術を使用しない農業生産方式で有機農産物検査認定制度（有機JAS認定農家）は、只今居ないが、今年美深福祉会がハウストマト栽培において有機JAS認証の取組を始めた。

イエスクリーン農法農業者に北はるか餅生産組合30戸、平成19年から水稲作物のエコファーマー認定を受け農地水環境保全向上対策で化学肥料・農薬を慣行栽培の50%以下に抑えた特別栽培米で20戸、今年から2戸、南

### 問 総合計画の発生源、内容を早めに

#### 答 実施計画まで早めに提示する

質問 第5次総合計画の策定で策定アシスタントとしてコンサルタントへ委託をし、平成22年の1月で街づくりの方向性・将来像・基本目標の検討について最終決定をみることになっているが進め方を伺う、議会審議は平成22年の7月・12月としているが、早めの提案ができないか、特に総合計画の発生源・検討した内容・類似町の比較検討・根拠位置づけ、など協議すべきであるが、考えを伺う。

町長 計画は平成21・22年でまず役場内の体制づくり、7月に町民で構成の策定審議会8月に住民アンケートと関係団体への調査シートを実施した。

11月・12月で自治会、関係団体と25回のまちづくり懇談会を開催、これらの意見や調査結果は、分析検討のためコンサルタント会社と協議している。

基本構想の議決は可能なかぎり早く決定出来ればと思う、基本計画は、基本構想・基本計画・実施計画一体で原案提示して相談する。



瓜エコファーマーの認定を受け堆肥の導入、

平成6年から持続的農業環境型農業の確立を目指し斑溪堆肥盤の麦堆肥活用の土づくり・稲わらのすき込み、緑肥、発酵鶏糞、魚かすなどの利用からも町内ほとんどの農業者がグリーン農業に取り組んでいる。

ニンニクの有機栽培試験や南瓜の減肥試験などもおこなっている。





中野 勇治 議員

- 1 美深育成園改築の支援策について
- 2 高齢者福祉の推進について
- 3 駅東工業団地の管理状況について

### 問 育成園改築に町の支援を

#### 答 必要な支援策を考えたい

質問 美深育成園が全面改築を計画され、この度、園舎改築期成会が設立されたが、国の補助金を受けるには平成23年度までに事業を完了しなければならず、期間が極めて短かく、町は改築事業が円滑に推進できるような人的支援も含めて考慮すべきでは。

町長 園舎改築は国の補助事業を活用しての改築計画であり、限られた日程の中で事業費のことはもとより事務局体制の心配もあるかと思うが、現町役場の体制の中では技術、さらには事務体制の直接支援は困難である。しかし、大事な施設であることから今後、改築期成会や関係者、議会と相談し、支援策を考えたい。



改築が待たれる育成園

### 問 駅東工業団地の管理責任は

#### 答 最終責任は町にある

質問 旧天塩川木材跡地である「駅東工業団地」の現況として、  
①工業団地とJRの境界に壊れた重機車両が放置されている。  
②町の建物の軒下からちぎれた青いビニールシートがぶら下がって、見苦しい。  
③団地を木材置き場に使用する木材工場が泥や木くずで付近の町道を汚している。

町としての指導および管理責任は。

町長 借りている方が善意をもって対処するのが基本だ。しかし、最終責任は町にあるので借りている方に善意をもって対処するようきちんと指導したい。

### 問 「見守り」が必要な高齢者も

#### 答 自治会中心に体制を

質問 本町の高齢者の内、ひとり暮らしが310世帯、夫婦共高齢者が390世帯、合わせて700世帯ある。

高齢者世帯の中でも「心配な世帯」を中心に、関係する団体と連携し、見守ってあげる体制が、必要になって来たのではないか。

町長 高齢者の見守りについては、現在町内会・自治会を中心に地域の中で見守る体制を考えているところだ。

市街地の町内会においては、小グループが組織され、高齢者世帯などを定期的に訪問し安否確認等に取り組んでいるところもある。



工業団地内の町有建物



林 寿一 議員

- 1 新年度予算における不景気対策は
- 2 第5次美深町総合計画に見る議会の関与について

### 問 新年度予算をどう取り組む

#### 答 新政権の下、財政と相談して

**質問** 農業は天候不順により1億3、600万円の損害が生じ、商業に於いても世界不況、デフレ等により景気低迷、又サラリーマン社会でも給与、手当削減などの現状を考え、新年度予算にどう取り組むか。

商工業におけるプレミアム商品券、新たな工夫で2回目の実施は暮れの景気を押し上げたのでは。

サラリーマン社会、基本的には一次産業、農業林業を基本とする町だと捉えているがサラリーマンのウエイトも大だと思っている。

人事院勧告は手当ての減額、給与の減額勧告であり、そのとおり行えば波風は立たないわけであり、交付税に依存する町としてはいずれにしても財政との相談である。

**町長** 将来を見通した財政の動向が現在見極めがつかぬところで、特に地方交付税がどうなってくるのか危惧しているところである。国は地方を大切にするといいことで、農村社会は新しい政府に期待するところである。又、新規就農も大切なことであるが、既に農業を継いでいる子息の支援も大事なことであり、家族協定を一步進めるか、見直すべきかその時期でもある。

### 問 総合計画、議会の関与度を大に

#### 答 話し合いを重ねる

**質問** 総合計画、その策定に於いては、議会は基本構想のみが議決されるといふ事、計画ビジョン等個々の施策に対応努力し予算に関わるようであれば責任の度合いが不透明ではないか。

**町長** 総合計画であるが、議会の責任というか関与の仕方、基本的には議会の意見、提言をいただいで、いろいろ話し合いを重ねてよい良いものを作っていくかなければならないと理解している。



好評だった商品券



小口 英治 議員

**問** 事業施策内部・外部評価

Cランクの考え方は

**答** 非常の重く受け止め

今後の政策課題に

**質問** 事業施策外部評価及び内部評価の公表は、情報公開の趣旨に沿っているし、具体的に検討課題が見えてきたと認識しているが、Cランクの項目についての考え方、対策を伺う。

**質問** 外部評価委員に關しては3回の会議で、193の事業数があるが、事務事業名まで踏み込んだ中での審議内容か。

**町長** 外部評価においては総合計画の目標とどうか、ひとつの指針に対し評価されたものと理解しているが、結果は非常に重く受け止めなければならぬ。

**町長** 大項目の中でそれぞれの項目があるという事で理解頂いて、細かな説明はしていないが、総合計画大枠の中で、意見、質問を受けながら評価を頂いている。

内部評価は事業の効果・進捗状況を評価したもので、社会・経済状況の変化により推進、中止、工夫が必要な項目もあり理解願いたい。

**質問** 多岐に渡るので、具体的事業名で職場工業活性化、中小企業支援事業、個店近代化促進事業についてCランクの評価に対しての考え方は。

**町長** 評価を受け、今後に生かす立場でもあり、今意見を求められている部分の答弁は差し控える。

**質問** 質問は考え方、その対策を問うもので、事前に通告もしている、内部評価の委員は、構成員が役場職員なので内部評価結果の考え方についてはどうか。

**町長** 職員で内部評価をしながら、外部評価等々にかけているので、一連のもので理解頂きたい。

**質問** 内部評価の公表は評価しているが、職員の考え方も聞き、共通課題に基づき、町づくりにより携わり、課題等も公表する事が当然と思うが。

**町長** C評価であるから非常に評価が低いわけで、いろいろな手法をとり、見直しが必要なのは整理するし、遅れているものは早めなければならぬという事で具体的に今評価をうけてコメントする段階ではなく、今後この評価を政策の課題にする。

平成20年度事業施策内部評価（抜粋）

部会区分	主要施策	内部評価		
		妥当性	有効性	方向性
福祉・教育	①ノーマライゼーションの普及啓発	B	C	C
	②地域福祉体制の充実	B	C	C
	①高齢者福祉サービスの充実	B	B	B
産業・経済	①クリーン農業の推進	A	B	B
	②生産体制の確立	A	B	B
	③農業経営の確立	A	B	C
	①林業経営の安定化	B	B	B
	①魅力ある市街地の推進	D	D	D
	②商業活性化の推進	A	B	B
	①地場工業の育成	B	A	B
	①観光振興体制の充実	B	B	B
	①雇用の安定・促進	B	B	C
環境・行財政	①市街地整備の推進	D	D	D
	①防災体制の強化	B	B	C
	②ふるさと運動の拡充	C	C	C
福祉・教育	①生涯学習基盤整備の充実	B	B	B
	①社会教育活動の充実	B	B	B
	①芸術・文化の充実	B	B	B





今泉 常夫 議員

1 第4次総合計画の「行政評価」結果について

問 人間ドック助成の復活を

答 現在、内部検討中

質問 現在、高齢者医療制度を推進している広域連合会では、高齢者の健康増進事業の一環として人間ドック実施市町村（平成21年度52市町村対象）に対し、補助金を交付していることを踏まえ、本町においても高齢者の人間ドック受診者助成制度を復活させ後期高齢者等の健康増進を図るべきでは。

で検討を進めている。

町長 特定健診事業（受診義務40歳〜74歳）が制度化されたことに伴い、従前の人間ドック助成制度を20年度から廃止し、高齢者の方々にもこの健診を受診するよう推進しているが、高齢者に対しては後期高齢者医療広域連合会からの補助支援制度もあることから、今後の対応について現在内部



健康サポートの厚生病院

問 観光行政を担える体制を

答 人材派遣支援で対応

質問 21年度行政評価報告書の中で「地域資源を活用して観光事業に重点を置いた施策の必要性と積極的なPR、更に質の高いサービスの提供が望まれる」との提言があるが、これらを踏まえ、観光行政を担える観光協会の体制を構築すべきでは。

町長 地域観光を一步踏み込んだ形で地域の資源を利用しながら、観光行政に結びつける何らかの開発が必要である認識から、これらの対応として新年度に向け人材派遣支援を北海道に要請することを検討している。

質問 現在、NPO法人トロッコ王国が取り組んでいるトロッコ運行事業も、本年は一万人以上の入国者（利用者）を迎え、ひとえに役職員の努力によるものであり本町にとって重要な観光事業の一つである。しかし近年課



観光事業を担う観光協会

題もあると聞くが町長の所見を伺う。

町長 NPO法人役職員の努力には感服している。

残念ながら、高齢化を迎え施設も若干心配な部分があると思っっているが、これまでの支援策を取り組んできた歴史等を踏まえながら、大事な施設であるので今後とも相談を受けていきたい。



倉兼 政彦 議員

- 1 農業担い手対策・有害鳥獣対策の共通課題は関係自治体・J A連携で
- 2 有害鳥獣対策について
- 3 肺炎球菌ワクチン接種の取り組みについて

### 問 鹿の農作物被害防止策は

### 答 新年度予算で鹿柵設置を

質問 農作物に被害を与え農業者には頭痛の種となっているエゾシカは、道央・道北地区では、年率15〜20%の割合で増殖し、その生息数は26万頭に達しているという。

町、農協、農業者、猟友会、森づくりセンター、普及センター等による全町的な体制で計画的な駆除を含めた被害防止策を検討されるべきと思うが。

また、道・市町村連携による広域な対策の

取組みが不可欠と思うが。

電気柵の鹿柵設置は、鹿の道筋を変えるのみで被害を抑える事にはならない。



鹿対策の電気柵

町長 農業者にとって大変深刻な課題であり、町政にとっても同様の課題である。

対策協議会は、町単独ではなく道が音頭をとって広域の対策を進めるべきと思ひ、要望していく。

町単の対策は、猟友会や農協とも協議しながら、駆除への対応、鹿柵設置が有効とされる事等から検討を加え、新年度予算で対応したい。

### 問 肺炎球菌ワクチンが有効

### 答 慎重な対応が必要

質問 新型インフルエンザの流行に伴って高齢者の肺炎が急増しているという。

その対策として肺炎球菌ワクチンの接種が有効な対策と注目を浴びている。

以前、議会に請願が出せれ種々の理由から不採択になった経過はあるが、今年6月に法改正があり小児用肺炎球菌ワクチンの接種と、高齢者には2度目の接種が可能になり、肺炎発症予防に有効な手段とされている。

肺炎予防は、医療費の抑制にもつながる事で、補助事業で対応する自治体もあり、わが町でも取り組んでは。

町長 議会の経過もあり、加えて保健師の意見も参考に、また、リスクもあるのではと言われており、慎重な対応が必要と思う。

今後の課題として預けてほしい。





南 和博 議員

- 1 名寄バイパス開通に伴う関係道路の整備と安全対策について
- 2 新年度予算編成における産業振興策について

### 問 町道交差点の安全対策を

#### 答 関係機関と協議する

質問 名寄バイパスが3月中にも東地区区まで開通することにより、東2号道路(道道680号)の交通量急増が想定され、これにより交差する町道の整備と安全対策が必要ではないのか。

町長 安全対策は22年度要望として支庁に行っており、さらに美深インターを中心とした地域については、交通安全確保に関するエリアとして国家公安委員会より法的指定を受けている。

これにより、公安委員会に対し安全施設整備の要望を進め相互に連携した安全対策を強化していきたい。

質問 東2号線と交差する7線から9線の交差点は視界をさえぎる構造物や立木、さらに道路の起伏による視界障害、変則的な交差点など危険箇所が多く安全対策を強く要望すべきでは。

町長 7線の立木、8線の倉庫は町有なので対応を考えたい。

技術的な事は関係機関と担当部署、さらには国・道の関係者と相談し、対応しなければならぬ箇所は手を打つ。



危険が懸念される交差点

### 問 農業予算の重点項目は

#### 答 基本は土づくりから

質問 本年の美深農業を振り返ったなかで、新年度予算編成の重点項目は。

町長 新年度においても土壌診断に基づく土作り、輪作体系の維持策、小規模土地改良事業も継続したい。

また、生産組織代表者との懇談会では有害鳥獣対策への要望が多くあり精力的な予算付けを考えている。

農業施策については生産者団体からの提案型の制度設計があるを進めやすい。

質問 商工業振興は建設業がけん引役と思うが、現政権のなかでは新年度の公共事業が激減する心配がある。町として仕事の創出が必要では。

町長 町単独では限界があるが一定の公共事業を考えなくてはならない。

地域経済に波及効果ができる事業になるよう鋭意努力する。



# 平成20年度決算を認定



平成20年度各会計決算は、一般会計ほか6特別会計の決算総額は61億9,500万円、水道事業会計9千90万円の決算となった。

地方財政厳しいなかで一般会計決算は、国の2次補正予算（地域活性化・生活対策臨時交付金、定額給付金等）で経済対策が組まれるなど収入で前年比2億7,000万円増の45億1,600万円、支出で43億2,800万円となり、3,580万円を繰越明許費で対応し、1億5,200万円の実質黒字となった。

町の年度末借金残高は一般会計では、50億2,300万円、前年より4億700万円減少して起債制限の面では、許可団体から協議



倉兼決算委員長

団体となった。

特別会計の借金は簡易水道会計で1億4,500万円、下水道会計で19億3,000万円、水道事業会計で1億6,000万円となっており、全会計の借入金総額は72億5,800万円となった。

基金（貯金）は、年度末で22億7,400万円、前年より3億1,000万円の増、別立ての備荒資金は、700万円増の6億9,000万円となった。

一般会計の財源は、町税等の自主財源が15・

2%と厳しく、84・8%は地方交付金等の依存財源で賄われている。支出の人件費等の義務的経費は40・5%を占めるが行政改革の取り組みで前年比11%の減となっている。

総支出に占める人件費は19・3%である。建設事業費等の投資的経費は、15・4%を占め前年比41・5%の伸びとなった。

各会計とも議決された予算の健全運営に努力されている。尚、今泉議員から少数意見留保の申し出があった。

平成20年度決算審査特別委員会（倉兼政彦委員長）が11月11～13日の日程で開かれ、平成20年度一般会計ほか6特別会計並びに水道事業会計は審査の結果「認定すべきもの」と決した。

平成20年度各会計決算額

	入ってきたお金	使ったお金	差 引
一 般 会 計	45億1,576万円	43億2,825万円	1億8,751万円
国民健康保険特別会計	8億4,391万円	7億8,191万円	6,200万円
後期高齢者医療保険特別会計	5,325万円	5,247万円	78万円
老人保健特別会計	6,233万円	5,977万円	256万円
介護保険特別会計	4億1,287万円	4億 156万円	1,131万円
簡易水道事業特別会計	6,443万円	6,443万円	0
下水道事業特別会計	2億4,221万円	2億4,221万円	0
上水道事業会計(収益的)	9,090万円	7,124万円	1,966万円
” (資本的)	783万円	3,217万円	△2,434万円

## 決算審査の質疑

### 総務費

問 国からの定額給付金と子育て応援特別手当の交付状況は。

答 定額給付金は、対象2、476世帯中2、454世帯が申請、支給額は8、207万2千円、子育て応援手当では、46世帯172万8千円を支給した。

問 備荒資金6億9、000万円の考えは。

答 金利が高く財政状況を見ながら積立する方向に進めたい。

### 民生費

問 75歳以上の人間ドック助成対策が再開されたのでは。

答 本町では、特定健診項目を国の基準以上で、人間ドック並の健診が出来る態勢と成っているため、助成は考えていない。

### 衛生費

問 ゴミ処分場の処理可能な年数は。

答 特別な災害が発生しない限り8年程度と思う。

問 有害鳥獣駆除補助金に残額が出た要因は。

答 農作物被害の拡大で対策を強化したが不用額を残す結果となった。

問 要望のある電気牧柵は、22年度予算で対応したい。



### 農林産業費

問 農畜産物販路拡大事業は統一ブランドで進めているのか。

答 統一ブランド化で販路拡大を進めたい。町内7団体で組織、販路拡大、市場調査、餅米のPR等に取組んでいる。

### 土木費

問 公営住宅の空室状況と計画比は。

答 現在226戸のうち7戸が空室。

問 公営住宅ストック計画では、特別公共住宅等を含め286戸に対し、現在284戸。

### 教育費

問 美深中学校、仁宇布小中学校の耐震診断の結果は。

答 中学校の特別教室の棟は基準値以下、仁宇布の学校は1階部分が基準を満たしておらず、震度6以上の時は危険性が高い。



### 美深町介護保険特別会計

問 施設サービスが増加し福祉施設と介護療養型施設の実績が減少しているが。

答 国も在宅を進めているため、要介護者の在宅サービスの部分が増えて、その分施設サービスマンが減少している。

### 国民健康保険特別会計

問 税の収納率が低下している。

滞納処理の取り組み状況は。  
答 税の滞納処理は、副町長を本部長に施策を進めている。

### 特定健診

問 特定健診を547人が受診しているが、実施率などの目標は。  
答 健診対象者は、1、229人で44・5%の受診率、目標は65%に設定。

## 少数意見の要旨

予算執行にあたって町民無視、行政側重視の姿勢が見られる事から、安易に決算認定をすべきではない。

①恩根内小学校跡地活用審議会の記録公表において、活用利用希望者の発言を实名で公開しながら、審議委員名は意図的に非公開にしている。

②農業実習希望者受入登録申請者に対する可否保留対応について、町民との信頼関係を著しく損ねた。

### 町民1人当たり使われたお金は（一般会計）

	町民1人あたり	1世帯あたり
一般会計 43億2,800万円	83万9千円	179万7千円
まちの借入金 50億2,300万円	97万4千円	208万6千円
まちの貯金 22億7,400万円	44万1千円	94万4千円

人口 5,158人 世帯数 2,408世帯 (H21.3.31現在)

# こんなこと調査しました。 委員会レポート

## 総務住民常任委員会

### ▽調査事項

美深育成園の現状と課題について

(1)浴室・トイレの改修状況

(2)施設の居住環境状況

(3)施設の利用及び運営状況

### ▽調査月日

11月16日

### ▽調査内容

①浴室・トイレの改修  
浴室内にユニットバスを設置し衛生環境の確保をした。

トイレは、男女共用を解消し間仕切り壁、ドア、洗面所の一部を増設する改修工事を実施した。

②施設の居住環境状況で9施設の面積、建築年数、経過年数の説明を受ける。

入所状況49名の小学・中学・高校及び4歳児の入所状況の説明を受ける。

③町助成金（21年度）施設改修費928万2

千円×3分の2で61万8千円

運営費補助額、定額50万円は水道光熱費の一部として町補助をしている。

### ▽調査のまとめ

各園舎老朽化が進み、改築計画あり、美深育成園・園舎改築期成会が結成され改築整備の計画協議中で継続調査とする。



## 上川町村議会議員研修に参加



川口明浩氏



広瀬克哉氏

10月26日(月)、旭川市で開催された上川町村議会議長会主催の議員研修会に参加してきました。

主催者挨拶で始まり午前は、法政大学教授の広瀬克哉氏が「議員力検定について」の講演があり、参加議員全員が議員力検定を受け、大変有意義な研修であった。

午後は、公認会計士の川口明浩氏が「公会計制度と財務書類等の公表について」のなかで、会計の結果が解るような財務書類の作り方とそれらが議員・住民への開示の仕方等について話があった。

それぞれ内容の濃い講演であり、これからの議会活動の糧としたい。

## 産業教育常任委員会

### ▽調査事項

①商工業の活性化（プレミアム商品券について）

②土木工事の発注状況

### ▽調査月日

10月23日

### ▽調査内容

①プレミアム商品券二回目の発行方法

目的は、景気低迷が続くなか、美深町地域活性化経済対策臨時交付金事業で地元限定の商品券利用による商店

街の活性化を図る。

発行額6千万円プレミアム率20%で1千万円補助。

②豪雨による災害箇所整備工事等13件完成、未完成工事8件。

③美深駅東地区整備状況は、平成20年までの進捗率は49%完了。

### ▽調査のまとめ

①換金率99・6%  
総体の費用対効果を提示し対応など検討が必要。

②町内の排水路、下水路、町河川と町道の定期点検が必要。  
③緑地帯・工業用地において雑草も茂り見苦しい、整備計画の見直しが必要と思われる。





## 議会改革特別委員会

平成21年3月18日第1回町議会改革特別委員会が、12名の議員で設置された。4月8日に6名の部会委員で議会改革の今日までの経過について調査した。

その調査では平成11年から一般質問の一回一答方式採用、一般質問の日程調整、政務調査費の交付条例制定、議会情報の公開など議会改革が既に成されているものがある。ただし議会基本条例の制定には至っていない。

最近、国は地方議会のあり方を見直すなど、地方自治法の抜本改正案で首長が議員を在職のまま副町長、各部署のトップに起用できるなど、議員を政策決定や執行に参加させ、議会を活性化し、「地域主権」の実現にむけて

の関連法案が検討されている。

議会は、町民の代表機関として、地域における民主主義の発展と町民の福祉向上のために果たす役割は益々大きくなっている。

特に地方分権時代を迎えて、地方公共団体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、「地域主権」の具体化にむけて基盤を整備すると言う総務省（地方行財政検討会議）での議論が進んでいる。

議会はその持てる機能を駆使し、自治体事務の立案、決定、執行、評価（監視）における論点・争点を広く町民に明らかにする責務を有していることから、自由で闊達な討議を通じて、これらの論点・争点を町民に公開する事が議会の第一の使命である。

議会はまた、議会に

おける政策活動への町民参加の推進、議員間の自由討議、行政機関との積極的な討議が必要であり、持続的で緊張のある関係の保持、議員自らの資質の向上、議会活動を支える様々な体制の整備が必要である。

議会に関する項目別取組で57項目うち25項目を優先協議事項とした。

平成21年12月17日議会改革特別委員会で議員定数を13人から2減の11人とする事で統一見解を示した。1月28・29日に定数についての説明会を開き、協議の経過・結果を町民に報告した。



## 議員投稿



倉兼 政彦 議員

### 「元気のある町に」

第5次美深町総合計画の策定に向かって、今頃は基本構想の原案づくりに没頭している頃と思う。

この計画は、平成23年度から10年間のまちづくりを考えるもので

あるが、現状からして高齢化率が上昇する反面、農業経営体も商業

経営体も減少、併せて人口の減少や美深道路の開通で町の活気が薄れてくるマイナス面の意見も多く聞かされる昨今。

しかし、先輩たちが百十年の歴史を築いてくれたこの町、自主自立の道を歩むわが町に、何としても元気を取り戻す努力を皆さんと共にしていきたい。

国は第六次産業（一次産業＋二次産業＋三次産業）の振興で地方再生をしているが、高齢化と過疎化の進む地域では、構築が難しいのではないかと疑問を感じる。

わが町は、基幹である第一次産業、特に土台となる農業の生産力をしっかりと担保する事が、町を元気にする源だと思っている。

土台がしっかりしないと家は崩れてしまつ。つまり、福祉や教育

の充実もままならなくなる。

しかし、直面する課題も多くあり、例えば、農業の担い手について、農家の担い手の充足率が農家数の30%未満では、その地域の農家数は将来減少するとされるが、美深町はその充足率以下の状況にある。皆さんと共に自助・共助・公助の心を大切に、元気のあるまちづくりにプラス思考で参画して行きたい。



開通予定の高規格道路

# 議 会 活 動 日 誌

《9月》

- 17日【議員控室】第5回議会改革特別委員会
- 19日【町内】富士重工(株)懇談会

《10月》

- 4日【COM100】コムカレッジ110大学美深校並びに七福老人クラブ  
合同による芸能発表会
- 13日【議員控室】第6回議会改革特別委員会
- 13日【町内】議員会町内視察（集中豪雨災害現場：玉川、楠地区）
- 15日【委員会室】広報編集特別委員会（16・19・29日）
- 20日【大会議室】美深町名誉町民称号贈呈式
- 23日【委員会室】産業教育常任委員会所管事務調査
- 26日【旭川市】平成21年度上川支庁管内町村議会議員研修会
- 31日【東京都】東京美深会総会…写真①

《11月》

- 4日【恩根内センタープラザ】町民懇談会（議会改革特別委員会）…写真②
- 5日【仁宇布コミュニティセンター】町民懇談会（議会改革特別委員会）
- 6日【旭町ふれあいステーション】町民懇談会（議会改革特別委員会）
- 8日【COM100】歳末助け合いチャリティー発表会…写真③
- 9日【COM100】美深町体育協会スポーツ奨励賞授賞式
- 11日【議場】平成20年度決算審査特別委員会（13日まで）
- 14日【COM100】町内会・自治会創立20周年記念式典…写真④
- 16日【委員会室】総務住民常任委員会所管事務調査
- 20日【議員控室】第7回議会改革特別委員会
- 20日【議員控室】全員協議会
- 30日【議場】第3回臨時会

《12月》

- 8日【委員会室】議会運営委員会
- 10日【COM100】岩木實氏の旭日小綬章受章・美深町名誉町民  
祝賀会…写真⑤
- 14日【議場】第4回定例会



## 編集後記

昨年の天候は、秋まで不順で早い降雪によりビートの収穫作業には7年ぶりに援農が実施された。

我町にも、助け合いの精神が生きていた事は、うれしい。

厳しい経済状況下にある本町にも国の地域活性化生活対策臨時交付金として総額6億9百万円が交付され公共投資や商店街の活性化につながる事業を実施し地域に活力を与えることができた。

これから、私たち議会も認定された平成20年度の決算の結果を検証しつつ平成22年度の予算編成に向かって努力したい。

広報編集委員会

委員長 倉兼 政彦  
副委員長 小口 英治  
委員 諸岡 清一  
委員 越智 勇

中野 宗訓  
庵 治  
勇 治